青少年プログラム委員会

青少年プログラム委員会　統轄委員長　高橋 貴子（行田さくらRC）

青少年プログラム委員会は15歳から18歳を対象とする奉仕活動です。
「アクト・ライラ委員会」と「青少年交換委員会」の二つの委員会で構成され、クラブ事業の支援をさせて頂きます。

～青少年達とロータリアン、手を取り合い、クラブ活性化と世界平和を～

■アクト・ライラ委員会

～提唱クラブ・学校・顧問教師会・インターアクトクラブの学生達と手を取り合い～

社会奉仕を理念に掲げたインターアクトクラブの活動は、他者に寄り添う想いや、地域社会への貢献等の高いモチベーションを持っています。提唱クラブのご支援により、彼らの活動場所や達成感を向上させられるような年度を目指しています。そのためにもロータリアンの活動や支援内容の周知、事業への参加が大切です。インターアクトクラブの学生を参加させたクラブの事業を多数実施して頂けますと幸いです。

若き「行動人」とも言えるインターアクトクラブの学生たちの志を大切にし、リーダー育成に繋がることを願っております。

■青少年交換委員会

～ホスト/ホストクラブ・ホストファミリー・受入学校・交換先の海外の地区と手を取り合い～

青少年交換プログラムでは異文化を理解し、国境を越えた友情を築く事で世界の平和の実現を目指します。青少年の国際社会への関心を高め、若きリーダーに平和への道筋を歩んで欲しいという願いです。

2025-2026年度、第55期生が派遣される年度となります。3名の派遣生の交換相手国は「インドネシア」「台湾」「イタリア」です。1年間のオリエンテーションを経て海外生活をし、たくましく成長する青少年に期待いたします。

■Peace Path Project（P.P.P.）

～地区・国・世代を超えた方々と手を取り合い～

通常の3名の青少年交換プログラムの実施の他に、地区・国・世代を超えて繋ぐ支援といたしまして「Peace Path Project」（P.P.P.）を実施いたします。P.P.P.ではウクライナから1名のインバウンド学生を受け入れます。同時にポーランドに1名の学生を派遣して、ポーランドに滞在するウクライナ避難民への直接支援活動を託します。

青少年奉仕事業にはクラブにとってクリアーすべき多くの課題が生じます。クラブの皆様と共に課題解決をして乗り越えた先にはクラブ活性化という実りがあると思います。世代も地域も超えて手を取り合い、私たちが青少年という若い芽を大切に育てはぐくむ事でリーダーが育ち、いつの日か彼らが世界平和を導いてくれるであろうと信じています。